

## 進路指導の決定版

新入生の皆さん、入学おめでとう。  
また、在校生諸君は進級おめでとう。  
今年度も進路情報新聞「COMPASS」を  
よろしくお願ひします。  
なお、5月号から本校ホームページ上  
にPDF版をアップロードします。

今年度から編集スタッフの入れ替えもあり、さらに充実した進路情報をお伝えできればと思います。では、初めに今年度のCompass編集部を紹介いたします。

- 編集長：伊藤 秀樹 (物理)・進路指導主任  
編集部員：鈴木 鷹理 (国語)・高1F担任  
：西川 敦子 (生物)・高1C担任  
：亀谷 純 (英語)・高2F担任  
：真利久ファルハン (英語)・高2B担任  
：前田 崇臣 (国語)・進路指導副主任・高3E担任  
：今井 真吾 (英語)・進路指導副主任・高3F担任



以上のスタッフで作成しますので、よろしくお願ひします。  
また、リード文にもあるように、毎月2000枚以上の印刷をやめて、5月号からは環境にやさしいWeb発信(PDF版)のみとなりますので、ご理解いただければ幸いです。

\*\*\*\*\*

## ～合格体験記～

### 慶應義塾大学経済学部 三藤 弘太朗(文系特進クラス)

これから受験生となる後輩に向けて、私の高校生活を振り返り感じたことを書かせていただきます。少しでも参考になれば幸いです。

これから始まる長い受験生活において、モチベーションをいかに高く持ち続けるかが結果を左右するといっても過言ではありません。模試を受験すると、思うような結果が出ず落胆することが多々あります。しかし、その結果に一喜一憂するべきではなく、自分自身で意識的に工夫をしていく必要があります。私自身は高2の夏に第一志望であった慶應義塾大学を実際に訪れ、受験期の苦しい時には自分が来年その場所にいることを想像してモチベーションを維持していました。さらに、行動を共にする親友が同じ志を持ち勉強していたことも心の支えとなりました。

次に、文系の人へ向けて書かせていただきます。まず、最初に伝えたいことは、早い段階で選択肢を狭めることはしない方が良いということです。文系特進クラスでは高3で数学の授業がなく、多くの文系学部において数学は受験科目に入らないこともあり、全く手をつけない人が多く見られます。しかし、実際には経済学部や商学部は入学後に数学の知識を必要とします。私は高2の夏時点で第一志望としていた商学部を数学で受験しようと思っていたので、一人黙々と数学の勉強も進めていました。

受験勉強を進める豊山生が悩むことの一つに、学校の勉強と各自で進めている勉強のバランスがあると思います。私も高2の時点では悩んでいました。今振り返ってみると、受験勉強をしっかりとやれば、学校のテスト勉強を苦にすることはほぼ無く、逆に学校の勉強も受験に役立っていました。

私は、高2の夏まで水泳部員として本格的に活動していたため、効率を考えて計画を立てました。ただ、文系科目は暗記量が多いので、毎日欠かさず常に覚える努力をしていました。効率ばかりを重視する勉強はどこかで躓きます。多少効率が悪いとしても、書いて覚える、声に出して覚える努力はし続けるべきです。

皆さんの健闘をお祈りします。

## 卒業生の合格状況

日本大学		推薦	一般	他大学		推薦	一般
法学部	一部	39	2	東北大学			1
	二部	11		宇都宮大学			1
文理学部		42		愛媛大学			1
経済学部		54		首都大学東京			1
商学部		40	2	東京海洋大学	1		
芸術学部		6		電気通信大学	1		
国際関係学部		15		防衛大学校			2
危機管理学部		4		慶應義塾大学			5
スポーツ科学部		5		早稲田大学	1	3	
理工学部		63	2	上智大学	4	4	
生産工学部		26		東京理科大学	6	10	
工学部		2		明治大学	2	11	
医学部		2		青山学院大学	1	6	
歯学部		1		立教大学	2	3	
松戸歯学部			1	中央大学	1	10	
生物資源科学部		40		法政大学	1	7	
薬学部		5		学習院大学	1	3	
短期大学部	三島			埼玉医科大学		1	
	船橋			東京歯科大学	1		
医学部付属看護専門				星薬科大学	1		
通信教育部				その他の大学	34	53	
小計		355	7	小計	57	122	
合格者数		362		合格者数	179		

※表は、平成27年度の卒業生470名のものです。

【伊藤秀】

### 東京理科大学理工学部 岡部 真我(理系特進クラス)

一般的な体験記は今の時代ネットにたくさんあるので、私が受験を通して得ることができた考えを書きたいと思います。

受験を意識し始めた人は一度は聞いたことがあるかもしれませんが、受験において一番最初に仕上げなければならないのは英語です。私は英語が苦手であったため、成績が非常に不安定でした。したがって、英語は一番最初に上げるべきです。そして、よく勉強法などで見るような考えを鵜呑みにするのはやめたほうがいいと思います。例えば、「参考書は三周すればいい」といった考えです。この考えでは、自分の学力をつけるという本来の目的が、参考書を三周するという別の目的に変わりがちです。よって、そのような勉強法は鵜呑みにせず、参考にする程度に留め、自分の勉強法をより良いものにするという考え方にシフトすべきです。模試の成績で一喜一憂するものやめてください。模試は自分の実力がどのくらいなのかの目安にしかなりません。とにかく重要なのは過去問の出来です。模試の結果がA判定でもE判定でも、過去問ができるのなら受かる可能性はあるし、できないのなら問題点を分析し、対策をしなければなりません。

しかし、この問題点は人によって様々です。よって、この問題は自分の力で解決しなければなりません。この問題解決能力をできるだけ高めてください。私で言えば、「物理の力学ができない→力学の単振動ができない→基礎事項の認識が不十分だった→この分野の基礎事項をしっかりと頭に入れてからセミナーを解いてみよう」というような感じです。これはあくまで一例ですが、とにかく「問題が生じる→詳しく分析する→解決策を考える→実行する」というのは変わりません。これをせずに闇雲に勉強しても、成績は伸びません。勉強は時間ではなく、どれだけ自分のものにできたかです。したがって、できるだけ効率的に進めた方が楽です。ただし、受験は皆さんが考えている以上にキツイです。私は途中で心の病になりかけ、受験期間中には何度も吐き、会場にさえ辿りつけなかったこともあります。しかし、受験をすることで得られたものは、しなかった人には絶対に得ることができないものです。

いろいろ書きましたが、これもあくまで私個人の意見なので鵜呑みにせず、参考にできるものだと思ったら参考にしてくれると嬉しいです。これから受験勉強がんばってください。

【校正：今井】

# 基礎学力到達度テスト



日本大学付属全25校(各学年約10,000人)を対象に実施される基礎学力到達度テストは、日本大学への推薦(特に「基礎学力選抜方式」)に直接係わる極めて重要なテストです。今年度は高1・2が4月20日(水)、高3が4月21日(木)に全国一斉に行われます。

高1生にとっては、今後を見据えた上での現状の自分の立ち位置を知る絶好の機会。高2生は、今回の成績から付属推薦の成績に算入されますので、目標とする進路に向けて万全のスタートを切れるように。高3生は、このテストが終わったら、残すは9月の4科のみ。昨年の結果個票を今一度振り返り、今回のテストの目標を立ててから受験するようにして下さい。健闘を祈ります。

## ★基礎学力到達度テスト(4月)の試験範囲

高1生	国語	中学全範囲
	英語	中学全範囲(英語・リスニングを含む)
	数学	中学全範囲
高2生	国語	国語総合
	英語	コミュニケーション英語Ⅰ(リスニングを含む)
	数学	数学Ⅰ、数学A(場合の数と確率)は必須とし、(整数の性質)と(図形の性質)から1つを選択
高3生	国語	国語総合、現代文B、古典B
	英語	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ(リスニングを含む)
	数学	数学Ⅰ、A、Ⅱの全範囲、数学B(ベクトル、数列) ※数学Ⅰ、Aの単独出題はしない。

また、「基礎学力到達度テスト氏名原票」には、志望内容記入欄があります。大学・学部・学科を第1志望から第3志望まで、就職志望者以外は記入することになりますので、テスト当日まで各自考えておいてください。特に、日大の場合は、自分の志望する学部・学科での自分の現在の位置が分かります。

【今井】

\*\*\*\*\*



## R-CAP アールキャップ

高1

高1生対象で、4月8日(金)のLHRにR-CAPが実施されます。そしてこの結果をもとに、5月18日(水)に講演会が行われます。R-CAPはリクルートが開発した自己分析のためのプログラムで、簡単に言えば進路適性検査のようなものです。毎年、高1生が実施しているのはtypeSと呼ばれているもので、次のような特長があります。

- ①「興味・関心」の結果から君たちのタイプと職業適性・学問適性を分析します。特に文理傾向なども紹介していますので、2年次の文理選択の際に、大いに参考になるでしょう。
- ②仕事のどんな点にやりがいを感じるか。それぞれの「やりがいワード」を紹介。自分のやってみたい職業・仕事を見つけるヒントになります。
- ③社会に出るまでに鍛えたいチカラをつけるために高校時代からできることを解説します。自分のやりたい職業が見つかって、その職業に就けるとは限りません。自分に必要なチカラがどれだけ身についているか、さらにそのチカラを伸ばすためのヒントを紹介しています。

このR-CAPは、3万人の社会人のデータを蓄積して分析し、客観的に自己診断ができます。あなたに、どのような個性があり、職業が向いているのか。その職業に就くにはどのようなことを高校、大学で勉強すればよいのか。中学の間はぼんやりとしていたであろう進路ですが、これをきっかけに考え始めてください。今後の高校生活の中では講演会や、小論文、調べ学習など、多くの進路行事が用意されています。

また高1生は、来年度に行われる文理選択や、志望校の決定など進路指導のスタート地点となるものであり、小論文を書く際にも材料となります。きちんと行なった上で、結果を無くさずに保存してください。

【前田崇】



# 高3 小論文テスト

高3生を対象に、4月27日(水)の3校時に小論文講演会、4校時に小論文テストを実施します。昨年度末に予備調査をしましたが、今回は「志望動機」と「小論文」の選択式となります。4月8日(金)のLHRにて本調査を行いますので、どちらで受験するか、よく考えておいてください。日大の付属推薦やAO入試を考えている人は「志望動機」、他大学の公募推薦を考えている人は「小論文」を選択するのがベターでしょう。また、一般入試はどちらでも良いと思いますが、難関大学の場合は「小論文」を選択しておこう。

この小論文は今までと同様、5月24日(火)にリライト(同じ問題でもう一度書く)を行います。これが高校生活最後の小論文テストとなります。ほとんどの生徒諸君が受験の際、あるいは大学へ進学した際に小論文が必要となります。特に、講演会ではしっかりとメモを取り、添削されて戻ってきたものはよく読んで研究することが大切です。今までの作文学習の集大成となるよう、今までの反省点をよく踏まえて臨むようにしてください。練習できるのは、これがラストチャンスとなります。

【前田崇】

\*\*\*\*\*

## スタディサブリ使ってますか？

今年の4月から「受験サブリ」が「スタディサブリ」と改名されました。本校では、学校契約を始めて3年が経過し、例年100名程度の生徒が学校を通して登録をしています。web学習として全国で約700校の高校が学校契約をしており、日大の付属高校も4校が利用しています。

そもそも「スタディサブリ」とはどんなものなのでしょう？簡単に言うと、塾や予備校に行かなくても、好きな時間に何回でも動画講座を視聴できるというものです。ですから、分からない問題があったらピンポイントでその講座を視聴すればよいのです。PCやタブレット、スマホでも構いません。ということで、中1～高3の生徒諸君にもっと利用してもらうために、今年度は次のようなことを提案します。(いずれも予定です)

- ①放課後、学校(視聴覚教室)で利用できるようにする。
- ②タブレット端末20台程度の貸し出し。
- ③個人契約で980円×12=11,760円を6,000円(税込6,480円)まずは、説明会を実施しますので、ぜひ参加してください。

【生徒対象の説明会】

- ①4/13(水) 15:20～16:00 ②4/18(月) 15:20～16:00

【保護者対象の説明会】

- 4/16(土) ①11:30～12:30 ②13:00～14:00

説明会場はすべて8階の視聴覚教室です。

※第1回目の申込締切日は4月23日(土)とし、それ以降は随時とします。

【伊藤秀】

\*\*\*\*\*

## 4月の進路行事

- ・ 4月8日(木) 進路適性検査 R-CAP (高1)
- ・ 4月13日(水) スタディサブリ説明会 (生徒対象) 日
- ・ 4月16日(土) スタディサブリ説明会 (保護者対象) (
- ・ 4月18日(月) スタディサブリ説明会 (生徒対象) )
- ・ 4月20日(水) 基礎学力到達度テスト (高1・2) 日直
- ・ 4月21日(木) 基礎学力到達度テスト (高3)
- ・ 4月27日(水) 小論文講演会・テスト (高3)

【伊藤秀】

次回5月号は、4月30日(土)発行予定です